

64-(5)、64-(6)



空港の耐災害性強化対策(空港の無線施設等の電源設備等の浸水対策、空港BCPの実効性強化対策)【国土交通省】

施策概要

空港無線施設等の浸水対策、災害時の対応や訓練の実施等による空港BCP(「A2-BCP」)の実効性強化を実施

効果

高潮・高波・豪雨等による空港無線施設等への浸水を防止
災害時における滞留者対応や施設の早期復旧等を実現

全国的な対策と効果

対策1 全国の空港において、空港無線施設等の電源設備等への止水扉設置等による浸水対策を実施

対策実施済み空港の施設数一覧

空港	施設数	空港	施設数	空港	施設数
東京国際空港	2	奄美空港	2	宮崎空港	4
新潟空港	4	久米島空港	1	北九州空港	4
大阪国際空港	2	出雲空港	3	八尾空港	3
那覇空港	4	山口宇部空港	2	岩国空港	1
関西国際空港	7	松山空港	2	富山空港	2
中部国際空港	9	高知空港	4	新石垣空港	1
福岡空港	5	神戸空港	1	下地島空港	5

他空港における電源設備の浸水被害



- ▶ 空港事務所庁舎及び無線局舎への浸水を防止するため、無線施設等の電源設備等への止水扉設置等による浸水対策を実施
- ▶ 災害発生時において、航空機の運航に必要な通信や管制を行うための無線施設等の機能を確保

対策2 空港BCP(A2-BCP)に基づく訓練の実施、災害対応力の向上

避難誘導訓練の様子(東京国際空港)



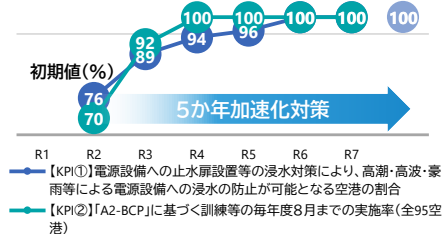
- ▶ 全国の空港で策定された空港BCP(A2-BCP)に基づき、空港関係者やアクセス事業者等と連携し、災害時の対応を行うとともに、訓練の実施等による空港BCPの実効性を強化
- ▶ 未経験レベルの大規模な自然災害やそれに伴うアクセス機能の喪失等外部からのリスクが発生した場合においても、我が国の航空ネットワークを維持

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	-	-
R6	R7	累計
-	-	-

※ 加速化・深化分は措置されていないが、空港整備については、自動車安全特別会計空港整備勘定において、必要な対策を実施

目標達成の見通し



効果発揮事例

空港BCP(A2-BCP)訓練により、自空港及び他空港のBCPの実効性を強化する



新潟空港事務所



新潟県新潟市(新潟空港)

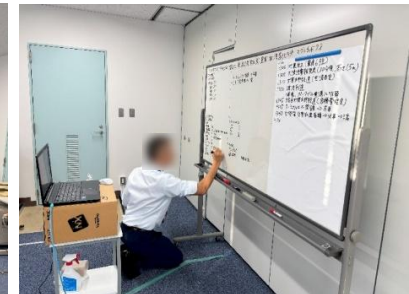


新潟空港における訓練の視察会

A2-BCP訓練の実施状況



総合対策本部の様子



ホワイトボードへの状況書き込み

事業費

-億円*(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)-億円)

※本対策については加速化・深化分の予算等を措置していない。

事業の背景(地域の課題)

新潟空港は海上に面していることから、地震時には地震そのものによる被害に加えて津波による被害が想定されており、被災後においても新潟空港が防災拠点としての役割を果たせるよう、訓練を実施しました。

事業の内容

2024年1月1日に発生した能登半島地震における新潟空港の対応を踏まえつつ、発災～総合対策本部設置～空港閉鎖解除までの一連の流れについて、総合対策本部の設置、旅客等の避難誘導、航空機の津波避難、空港施設の早期復旧対応等を想定し、A2-BCPに基づく訓練を実施しました。各空港の関係者(約40空港約70名)もオンラインで訓練へ参加しました。

効果

2024年1月1日に発生した能登半島地震における新潟空港での対応を踏まえたタイムラインを想定し、新潟空港A2-BCP発動時における手順として、発災～総合対策本部設置～空港閉鎖解除までの一連の流れを確認することができました。加えて、実働部隊(消防、海上保安庁)も参加しており、実働部隊からの地震発生・大津波警報発令時の空港への運航要請への対応について確認するとともに、連携の重要性を相互に認識し、関係性を強化することができました。多くの他空港の関係者が参加しており、特に津波による被災を想定している空港における旅客避難や施設復旧活動の有効な事例となりました。

(1)

人命・財産の被害最小化

(2)

交通・ライフラインの維持

2

インフラの老朽化対策

(1)

施策のデジタル化

(2)

災害関連情報の高度化

激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

災害関連情報の高度化